学級活動指導案

1. 議題名 「3年3組の新しい係の仕事を決めよう。」

2. 考察

(1) 児童の実態

(2) 議題設定の理由

本議題は、学習指導要領「特別活動」(1)学級活動「(1)学級や学校における生活つくりへの参画」イ 学 級内の組織づくりや役割の自覚にもとづいて設定したものである。

児童はこれまで、「学級目標を決めよう」、「3年3組をよりよくしよう」、「なかよし目標を決めよう」という課題で話合いを行ってきた。計画委員を組織し、議題の収集や司会進行、活動の振り返りを意欲的に行ってきた。その中で、常に意識しているのが全校で取り組んでいるなかよし目標である。3年3組では、「人の気持ちを考えて、ありがとうをたくさん言えるクラス」と設定し、協力し楽しい学級生活を送れるように活動してきた。

毎月行っている係活動の振り返りの中で、全児童が「声を掛け合って、係活動を忘れずにできている」と答えていた。また、係活動の見取りから児童の係活動が充実している様子も伺えた。その一方で、「仕事が少ない」や「ほかの仕事もやってみたい」という意見が出てきた。そこで、意見を出し合い、合意形成を図りながら新しい係活動の仕事内容を考えることで学級活動が充実し向上すると考えた。また、生活の中で自分の役割や責任を自覚し、他者と協力しながらよりよい生活をつくっていこうとする態度を養うことが考えられることから、本時の議題として設定した。

3. 目標

係の計画づくりと実践を通して、学級生活の充実や向上のために必要なことを話合いの中で決定し、学級 生活に生かすことができる。

4. 評価規準

集団活動や生活への	○学級の係活動に関心をもち、同じ係の子と協力して意欲的に取り組もう
関心·意欲·態度	としている。
集団の一員としての	○係活動を通して、楽しい学級生活をつくるために話し合い、学級として
思考·判断·実践	の合意形成をし、実践している。
集団活動や生活についての	○みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級としての意見をま
知識•理解	とめる話合い活動の進め方について理解している。

5. 指導方針

○事前

- ・「よかったよカード」と「こんなことしてほしいなカード」を書く際に、相手のことを考えて書けるように指導する。
- ・各係に「よかったよカード」と「こんなことしてほしいなカード」を書くことで、改めて自分たちの活動のよさを認めたり、足りないところを自覚し改善に向けた活動を考えさせたりする。
- ・他のクラスに係活動のインタビューに行き、視野を広げられるようにする。

○本時

- ・計画委員がスムーズに司会進行できるように助言や支援をする。
- ・導入の際には、議題の共通理解を図り、「クラスのためになる」、「にこにこ笑顔が増える」、「誰でもできる」こと を意識できるように、キーワードを提示し、話合いの観点を確認する場を設定する。
- ・出し合う場面では、児童があらかじめ短冊に書いておくことで、話合いの時間を確保する。
- ・本学級の係の数(11個)を伝えることで、新しい仕事を選ぶ基準を示すようにする。
- ・新しい仕事の内容を決める段階で、3つの観点を示し、出された意見を分かりやすくまとめるために、3色のおはじきを使うようにする。
- ・意見を比べ合う中で、観点を踏まえて理由を伝え合わせるようにする。
- ・少数派の意見を合体させたり、組み合わせたりしながら児童が納得しながら話合いを進められるようにする。
- ・まとめる際には、学級会ノートに自分の考えを記述させるようにする。

○事後

- ・話合いの中で決めたことを実践に移せるように支援する。
- ・3 学期の係の人へ、引き継ぎ書を書き、今回話し合ったことがクラスのなかで定着するようにする。

6. 指導計画

過程	主な学習活動	活動時間	【観点】評価項目(方法)
事	・活動の様子を振り返り、仕事内容などを見	朝活動	【関・意・態】自分たちの活動を振り返り、さ
前	直す。		らによくしていこうとしている。(振り返りカー
			ド、観察)
	・1 日の自分たちの活動を振り返り、どんな	1 時間	【関・意・態】よりよい学級になるための話合
	活動が考えられるかグループごとに考え		いに積極的に参加している。(観察)
	ప .		【思・判・実】自分たちの1日を振り返り、ど んな活動ができるかを考えている。 (ワークシート)
	・他の学級に行き、どのような係活動があるか調査する。	休み時間	【関・意・態】積極的に他のクラスの係活動 の内容を調査している。 (学級会ノート、観察)

	・調査した仕事に関する周知を行う。	朝活動	【関・意・態】自分たちが調査した仕事につ
			いて、分かりやすくクラス全体に伝えてい
			る。(発言・観察)
本	・調査してきたことをもとに、3 学期まで見通	本時	【思・判・実】自分たちのクラスがよりよくなる
時	して、新しい係の仕事を決める。		ための係の仕事を考え実践しようとしてい
			る。(学級会ノート、発言、観察)
事	・本時で決まった新しい仕事の仕方につい	1 時間	【関・意・態】新しい仕事に意欲的に取り組
後	て話し合う。		もうとしている。(観察)
			【思・判・実】学級をよりよくする係活動に前
			向きに取り組もうとしている。(学級会ノート)
	・話合いを経て、3学期の係の人への引継	朝活動	【知・理】よりよいクラスにするために係活動
	ぎ書く。		の引き継ぎをしようとしている。
			(ワークシート)

7. 本時の学習

- (1) ねらい 新しい仕事内容を発表し、なかよし目標を視点化した「クラスのためになる」、「ニコニコ笑顔が増える」、「誰でもできる」という観点から、今後の係活動の内容を考えることができる。
- (2)準備 調査結果、学級会ノート(自分の意見を記入済み)、短冊、ホワイトボード用マーカー
- (3)展開

	0/ 及[/]				
	主な学習活動	時間	支援及び留意点		
1	はじめの言葉	5分	○計画委員がスムーズに進行できるように必要に応じて助言する。		
2	先生の話		○議題の共通理解を図り、話合いの観点としてなかよし目標を視点		
3	議題の確認		化した「クラスのためになる」、「ニコニコ笑顔が増える」、「誰でもで		
			きる」ということであることを全体で確認する。		
	議題:3年3組の新しい係の仕事を決めよう。				
			○「係活動がより充実し楽しくなるように」ということを強調し、そのこと		
			に意識して話合いに臨めるようにする。		
4	提案理由の確認				
	めあて:どんな係の仕事	りあて:どんな係の仕事があったらよいか考えよう。			
5	5 話合い 5分		○インタビュー結果を参考にした新しい係の仕事の確認をし、本時		
話し合うこと			で話し合うことを確認する。<出し合ったことを確認する>		
ど.	どんな係の仕事があればよい 30分		○報告された仕事が、「クラスのためになる」、「クラスが楽しくなる」、		
か	か考える。		「誰でもできる」という観点を確認し、仕事を決める時の基準になる		
			ようにする。 < 比べ合う>		

- <予想される児童の意見>
- ・この仕事は、クラスのために なると思います。
- ・この仕事をやれば、みんな 「ありがとう」って言ってくれ ると思います。
- この仕事は、自分だったらできないな。
- ・このままだと難しいけど、少し 変えれば、誰でもできるよう になると思うよ。
- 6 決まったことの発表
- 7 先生の話
- 8 話合いの振り返り
 - <予想される児童の意見>
 - ・あの仕事をして、クラスのために 頑張りたい。
 - ・今日は、一生懸命話し合えた。
 - ・自分の考えた意見が採用されてうれしかった。
 - ・自分が考えたものは、今回は残 らなかったけど、みんなで考え た仕事を頑張りたい。
- 9 終わりの言葉

- ○比べ合う中で、11個(本学級の係の数)に絞ることを伝えることで、よりクラスに必要な仕事について考えることができるようにする。
- ○新しい仕事の内容を決める段階で、3つの観点を示し、出された 意見をわかりやすくするために、3色のおはじきを使う。また、意見 を比べ合う中で、観点を踏まえて理由を伝え合わせたりする。

【判断力】

- ○意見がまとまらない時には、複数の意見を合体させたり、折合いをつけたりしながら、児童が納得しながら話合いを進められるようにする。<決定>
- ○クラス全体で、もう一度決定事項を確認し、合意形成を図る。
- ○話合いの進行役を含め、クラス全体を称賛し、今後の係活動に前 向きに取り組めるような話をする。
- ○本時の話合いが日頃の実践につながるような振り返りができるよう に助言する。

【思・判・実】

5分

自分たちのクラスがよりよくなるための係の仕事を考え 実践しようとしている。(学級会ノート、発言、観察)

○大きな声で挨拶をして、学級会を気持ちよく終えられるようにす る。